

1月

4 / 日曜

ていさつ
偵察した12人が、イスラエルの
さいしよ じゅうしょくしゃ
最初の重職者でした

民 13:1～16 | 人々を^{つか}遣わして、わたしがイスラエル人に^{あた}与えようとしているカナン^{さぐ}の地を^ふ探らせよ。父祖^{ふそ}の部族^{ぶぞく}ごとにひとりずつ、みな、その族長^{ぞくちやう}を^{つか}遣わさなければならない。(2)



1. イスラエルの代^{だい}表^{ひょう}の重^{じゅう}職^{しょく}者^{しゃ} 12 名の使^し命^{めい}と位^い置^ちが準^{じゅん}備^びされたと、神様の
大^{だい}きなみわ^{みわ}ざが始^はまりまし^また(民 13:1 ~ 16)

- (1) ルベン部^ぶ族^{ぞく}からは、ザクルの子^こシャムアを派^は遣^{けん}しまし^また
- (2) シメオン部^ぶ族^{ぞく}からは、ホリの子^こシャファテを派^は遣^{けん}しまし^また
- (3) ユダ部^ぶ族^{ぞく}からは、エフネの子^こカレブを派^は遣^{けん}しまし^また
- (4) イッサカル部^ぶ族^{ぞく}からは、ヨセフの子^こイグアルを派^は遣^{けん}しまし^また
- (5) エフライム部^ぶ族^{ぞく}からは、ヌンの子^こホセアを派^は遣^{けん}しまし^また
- (6) ベミヤミン部^ぶ族^{ぞく}からは、ラフの子^こパルティを派^は遣^{けん}しまし^また
- (7) ゼブルン部^ぶ族^{ぞく}からは、ソディの子^こガディエルを派^は遣^{けん}しまし^また
- (8) ヨセフ部^ぶ族^{ぞく}、マナセ部^ぶ族^{ぞく}からは、スシの子^こガディを派^は遣^{けん}しまし^また
- (9) ダン部^ぶ族^{ぞく}からは、ゲマリの子^こアミエルを派^は遣^{けん}しまし^また
- (10) アシェル部^ぶ族^{ぞく}からは、ミカエルの子^こセトルを派^は遣^{けん}しまし^また
- (11) ナフタリ部^ぶ族^{ぞく}からは、ボフシの子^こナフビを派^は遣^{けん}しまし^また
- (12) ガド部^ぶ族^{ぞく}からは、マキの子^こゲウエルを派^は遣^{けん}しまし^また

2. 12 人^{てい}が偵^{さつ}察^{さつ}して帰^{かえ}ってき^きて、報^{ほう}告^{こく}しまし^また。偵^{てい}察^{さつ}した者^{しや}は、ぶどうの房^{ぶさ}と
ざくろといちじくを持^もってき^きまし^また(民 13:22 ~ 23)

3. し^しかし、彼^{かれ}らは絶^{ぜつ}望^{ぼう}的^{てき}な報^{ほう}告^{こく}をしまし^また

- (1) その地^ちに住^すむ民^{たみ}は力^{ちから}強^{つよ}く、その町^{まち}々^{まち}は城^{じょう}壁^{へき}を持^もち、非^ひ常^{じょう}に大^{だい}きく、巨^{きょ}人^{じん}の
種^{しゅ}族^{ぞく}であるア^あナクの子^こ孫^{そん}が住^すんでいま^{いま}す(民 13:28)
- (2) イスラエルより強^{くわん}い軍^{ぐん}隊^{たい}だ^だと報^{ほう}告^{こく}しまし^また(民 13:31)
- (3) 彼^{かれ}らはみ^みん^んな背^せがと^とて^ても高^{たか}く、巨^{きょ}人^{じん}だ^だと報^{ほう}告^{こく}しまし^また(民 13:31 ~ 32)
- (4) 彼^{かれ}らに比^{くら}べたら、イスラエルは弱^{よわ}くてい^いなご^ごのよう^{よう}だ^だと報^{ほう}告^{こく}しまし^また(民 13:33)

1月

11 / 日曜

重要な時期をむかえたイスラエルの
民は、不満の中にいました

民 14:1～5 | イスラエル人はみな、モーセとアロンにつぶやき、全会衆は彼らに言った。「私たちはエジプトの地で死んでいたらよかったのに。できれば、この荒野で死んだほうがましだ。なぜ主は、私たちをこの地に導いて来て、剣で倒そうとされるのか。私たちの妻子は、さらわれてしまうのに。エジプトに帰ったほうが、私たちにとって良くはないか。」(2～3)



1. 10名の代表（重職者）が行くことはできないと報告しました

- (1) 彼らの報告で、全会衆は、その夜、泣き明かしました(民 14:1)
- (2) モーセとアロンにつぶやきました(民 14:2)
- (3) エジプトや荒野で死ぬほうが良くて、彼らの剣で死ねないと、ものすごく気落ちして、つぶやきは天を突き刺すようでした(民 14:2～3)
- (4) 指導者を変えようとすべての民が訴えました(民 14:4)

2. 信仰の重職者1、2名が民族を生かすことができます（民 14:1～10）

- (1) ヨシュアとカレブは着物を裂いて悔い改めました
- (2) カナンの指導者は、すでに逃げて行くと信仰の報告をしました（民 14:9）
- (3) 主の栄光が会見の天幕からすべてのイスラエル人に現われ、民に平安を与えました（民 14:10）

3. 重要なことがある時ごとに二つの種類の民が現れました

- (1) 紅海の前でつぶやく者と祈る者が現れました(出 14:9～11)
- (2) カナンにはいる前に、不信仰を報告した重職者と信仰の報告をした重職者が現れました(民 14:1～10)

1月

18 / 日曜

神様は重要なことは信仰を
持った者にさせられます

民 14:6 ~ 10 | もし、私たちが主の御心^{みこころ}にかなえば、私たちをあの地^{みち}に導^{みちび}き入れ、それを私たちに下さるだろう。
あの地には、乳^{ちち}と蜜^{みつ}とがなが^{なが}流れている。(8)



1. 神様はいつでも、一回も例外なく、信仰を持った者に重要なことをさせられ、働きをなされます

- (1) 出エジプト以前にも、危機の中で信仰を持った人を用いられました
信仰の先祖アブラハムを用いられました
(創世記 12:1～9、13:14～18、22:1～20)
信仰の人ヨセフを用いられました(創世記 37:1～11、39:1～6、45:1～5)
モーセのお母さんヨケベドを用いられました(出 2:1～10)
- (2) エジプトを出た人たちの中で、信仰があった二人だけがカナンに入りました
信仰の報告をしたヨシュアとカレブだけがカナンに入りました
あとは、エジプトを知らない荒野で生まれた次の世代だけが入りました

2. 神様は危機の時ごとにヨシュアとカレブを通してイスラエルの民を生かされました

- (1) ヨシュアとカレブは、自分たちの着物を引き裂いて悔い改めました(民 14:6)
- (2) そして、全会衆に信仰の報告をしました(民 14:7)
- (3) カナンに在るものたちの守り(指導者)は逃げて、カナンの地は乳と蜜が流れる地だと報告しました。民がヨシュアとカレブを石で打とうとした時、会見の天幕から主の栄光がすべてのイスラエル人に現われました(民 14:8～10)

3. 神様はのちに、2人を通して大きなことをなされました

- (1) ヨルダン川を渡る奇跡をなさいました(ヨシュア 3:1～20)
- (2) エリコの城壁が崩れる奇跡を行われました(ヨシュア 6:1～20)
- (3) アモリ連合軍との戦闘で勝利するようにされました(ヨシュア 10:10～14)
- (4) アナクの戦闘で勝利するようにされました(ヨシュア 14:6～15)

1月

25 / 日曜

モーセの知恵と祈りは、神様の大きな
答えで道が残るようになりました

民 14:11 ~ 25 | あなたがこの民をエジプトから今に至るまで赦してくださったように、どうかこの民の咎をあなたの大きな恵みによって赦してください。(19)



1. 神様はモーセに旧約で最高の知恵と力を与えられました

(1) 知恵をくださいました

モーセが創世記3章を記録しました

創造と堕落、洪水とアブラハムがカルデヤを離れた事件など、重要な事件を記録しました

いけにえとささげ物(出 3:18)、礼拝(レビ記)と民のアイデンティティー(民数記)とカナン準備(申命記)を悟るようになされました

(2) 力を与えられました

- 出エジプトするとき、十の奇跡を行うように力を与えられました(出 12:37 ~ 51)

(3) 荒野の奇跡を起こすようになされました

紅海が分かれる奇跡を起こされました(出 14:1 ~ 13)

幕屋を作るようになされました

三つの祭りを守るようになされました

契約の箱を作るようになされました

2. 偵察した者の不信仰、民のつぶやきと、モーセの祈りは、最も重要な事件です

(1) 偵察した者の不信仰と民のつぶやきの声を聞かれた神様は、怒られ、民を疫病で打って滅ぼしてしまうとおっしゃいました(民 14:11 ~ 12)

(2) モーセは民のために祈って、神様の栄光が臨みました(民 14:14 ~ 19)

(3) モーセの祈りに神様はイスラエルの民を許して約束をくださいました。そして、不信仰になった民は、カナンの地に入れませんでした。ヨシュアとカレブだけがカナンに入っていくことができました。

3. モーセを通した神様の働きは、歴史上最高の働きです

(1) 出エジプトの10の奇跡を見せられました(出 4:1 ~ 12:51)

(2) 紅海と荒野の奇跡をなさいました(出 14:1 ~ 13)

(3) 十戒、契約の箱、幕屋、三つの祭りなどの最も重要なことをなしとげられました(出 20:1 ~ 3)